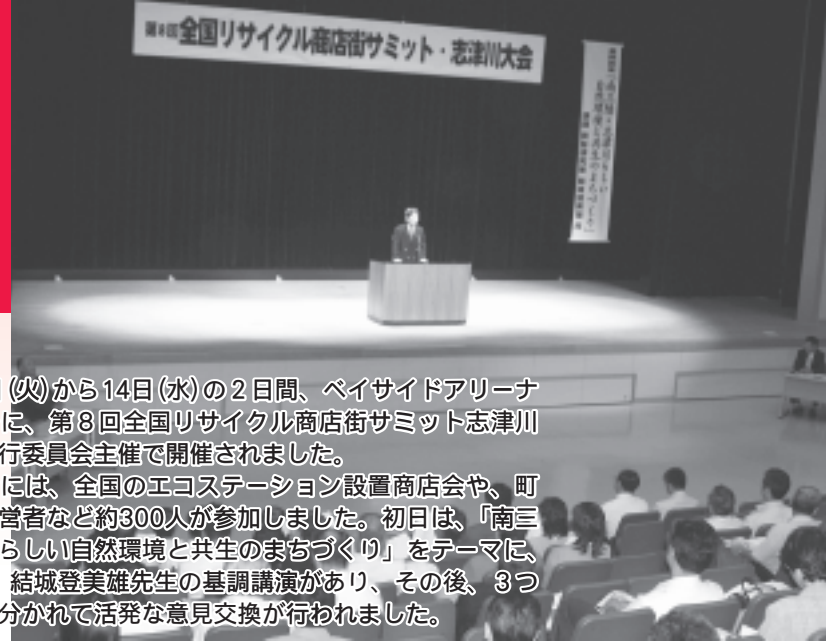


小さな町の
大きなネットワーク

**全国リサイクル
商店街サミット
志津川大会**

9月13日(火)から14日(水)の2日間、ベイサイドアリーナなどを会場に、第8回全国リサイクル商店街サミット志津川大会が、実行委員会主催で開催されました。
この大会には、全国のエコステーション設置商店会や、町内の商店経営者など約300人が参加しました。初日は、「南三陸・志津川らしい自然環境と共生のまちづくり」をテーマに、民俗研究家 結城登美雄先生の基調講演があり、その後、3つの分科会に分かれて活発な意見交換が行われました。



声をかけながら放流する子どもたち

「大きくなってね」ヒラメ稚魚放流体験

9月14日(水)、歌津中山漁港において名足小学校3・4年生が総合学習の一環として、ヒラメ稚魚の放流を行いました。
ヒラメの稚魚は、志津川町・歌津町水産資源増殖管理推進協議会が、資源管理型漁業の高度化を目的として、毎年約10万尾放流しているものです。
放流を体験した子どもたちは、「大きくなって戻ってきてね」と、ヒラメの稚魚を一匹ずつ、ていねいに海へ放していました。

アメリカ合衆国南部水害被災地に義援金

9月15日(木)、志津川中学校生徒会から、古田大輔会長(3年)、遠藤千菜副会長(3年)、大森庄洋副会長(2年)が代表して、8月末に米国南部を襲った大型ハリケーン「カトリーナ」の被災地の救援に役立ててほしいと、56,611円の義援金が届けられました。
募金活動は、生徒会役員が中心となって自主的に始められ、登校時に校門で募金を呼びかけたり、9月4日(日)の学校運動会の際、保護者や地域の方々にも呼びかけたものです。
この義援金は、日本赤十字を通じて被災地へ届けられます。



水害で苦しんでいる人々のために役立ててください。



笛太鼓に合わせ、軽快な舞を披露

さわやかな秋晴れに舞う

9月18日(日)、入谷八幡神社の例大祭が行われ、豊作と家内安全を祈願する伝統芸能「入谷打囃子」を奉納しました。
さわやかな晴天のもと、みこしを先頭に約200人が参道をくだり、黄金色で刈り入れ間近の田園の中の、大きな松の木のある広場でも、打囃子が行われ、花笠をかぶった獅子あやしの子どもが、打囃子の笛や太鼓にあわせ、巧みに獅子を操る舞を披露しました。
この秋祭りには、近隣市町村や都市部からも足を運ぶファンも多く、あでやかな衣装の小太鼓や勇壮な獅子をビデオやカメラに納める姿があちこちで見られました。



全国制覇を果たした近藤さん(写真中央)と高橋さん(右)

防具付空手道選手権で全国優勝!

第44回全国防具付空手道選手権大会が8月13日(土)に東京武道館で開催され、志津川・歌津の空手道連盟が5部門で優勝しました。
このうち、個人戦一般男子の部で優勝した近藤飛鳥さん(葦の浜)と女子の部で優勝した高橋成美さん(館浜)が、8月24日(水)に日本一の報告に歌津町役場を訪れ、全国大会での活躍などを報告しました。

**歌津中男子と志津川中女子が優勝
気仙沼・本吉地区中体連駅伝競走大会**

9月9日(金)、気仙沼・本吉地区中体連駅伝競走大会(南ブロック)が歌津中学校を発着点とするコースで開催されました。
本吉郡内の中学校7校、男子12チーム、女子12チームが参加。
男子は歌津中学校Aチーム、女子は志津川中学校Aチームがそれぞれ優勝。
女子の志津川中学校Aチームは8連覇を果たしました。



8連覇を果たした志中女子チーム



速さと正確さを競う

秋季消防演習

9月4日(日)、志津川町秋季消防演習がベイサイドアリーナ駐車場を会場に開催されました。
今回の演習は、小型ポンプ操法競技が行われ、時折雨が降る天候にもかかわらず、操法基準に基づく正確さと速さを競いながら、各分団とも統率の取れた操法を披露しました。
なお、競技成績は次のとおり。(敬称略)
第1位 第5分団 西戸班
佐藤三男、須藤勝幸、山中次幸、須藤清孝、佐藤勝、佐藤一夫
第2位 第10分団 桜葉沢班
山内満、山内二三広、山内竜也、山内清悦、小林義光、山内昌一
第3位 第9分団 岩沢班
菅原富康、西城清勝、山内雄真、首藤正利、高橋正幸、西城義弘



婦人防火クラブの皆さんによる一斉放水

9月18日(日)、歌津町秋季消防演習が吉野沢宅造グラウンドを会場に開催されました。
第1分団自動車ポンプ、第5分団小型ポンプによる模範操法が披露され、婦人防火クラブ軽可搬ポンプによる一斉放水が行われました。